

## 大西さとし

## 市政レポート

令和7年度  
第6回 12月定例会

HPやFacebookでも情報発信中!!

連絡先

〒760-0080 高松市木太町1849-1-602  
TEL 090-8696-1730

←HP

Facebook→

「人」が輝き、  
「まち」が輝く  
「輝く創造都市、高松」Report  
報告

高松市議会は12月5日、23日までの18日間の日程で令和7年第6回定例会（12月議会）を開会し、令和7年度一般会計補正予算など64議案を可決し、議員提出議案3件を否決したほか、陳情1件を趣旨採択しました。

なお、私自身本会議において一般質問を行い市政について質しました

## 令和7年度 12月補正予算の特色

一般会計は、当初予算編成後における情勢変化等へ適切に対応、人事院勧告に準じた給与改定、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用による事業実施により、約373億円の増額補正

## (1) 政策課題に対応するための事業の実施

(約0.8億円)

- ・災害時緊急物資備蓄事業費
- ・脱炭素化推進事業費
- ・塩江温泉郷観光振興事業費
- ・美しいまちづくり推進費

## (2) 当初予算編成後における情勢変化等への適切な対応(約9.6億円)

- ・小学校体育館空調設備設置事業費
- ・中学校体育館空調設備設置事業費
- ・過年度収入精算返還金
- ・児童扶養手当費
- ・児童手当費等
- ・子ども医療費助成費
- ・定期予防接種費
- ・妊婦・乳児及び歯科健康診査費
- ・妊娠期からの子育て世代包括支援事業費
- ・犬猫一時保管施設整備事業費
- ・団体営土地改良事業補助金
- ・単独県費補助土地改良事業補助金
- ・子どものシビックプライド醸成事業費
- ・校舎等整備費
- ・石の民俗資料館管理運営費

## (3) 債務負担行為の設定

- ・ゼロ市債、指定管理業務委託料などの債務負担行為の設定

## (4) 人事院勧告に準じた給与改定

(約8.8億円)

- ・給与改定に伴う増、期末勤勉手当支給率変更に伴う増、新陳代謝等に伴う増減など

## (5) 「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」などの活用(約16.1億円)

- ・物価高騰生活応援給付金事業費
- ・子育て応援手当支給事業費
- ・学校給食費管理事務費、学校給食食材費
- ・医療、福祉施設等物価高騰対策支援金交付事業費
- ・持続可能な地域農業の実現支援事業費
- ・中小企業等物価高騰対策支援事業費

← 議会議中継動画を  
ご覧になれます。12月定例会(抜粋)  
質問および答弁の概要

## 中小企業・労働者支援について

◎ 中小企業等賃金引上げ奨励事業の実施状況と、効果への評価

▲ 本市では、保育や介護等も含めた市内の中小企業等を広く支援するため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」、いわゆる「重点支援地方交付金」を活用して、持続的な賃金の引上げを行う中小企業等に奨励金を交付している。

事業の実施状況につきましては、本年8月末までの事前申請の期間中に、計975件、対象となる従業員数、5,327名、2億4,923万円分の申請があり、現在は賃金を引き上げた事業者に、順次、奨励金を交付しているところである。

本事業は、近年の原材料費の高騰や、最低賃金の引上げなどにより、中小企業等の負担が大きくなる中、市内の中小企業等が賃上げを実施するための後押しとなるほか、従業員の処遇改善が進むことで、必要人材の確保や定着にもつながるなど、一定の効果があるものと評価している。

◎ 中小企業等賃金引上げ奨励事業を継続的に実施する考えと、賃上げの成果を見える化して相乗効果につなげる考え

▲ 中小企業等の賃上げの促進は、労働力不足の解消はもとより、賃金と物価の好循環による、経済の活性化にもつながるものと存じる。

事業の継続的な実施については、今回の国の総合経済対策において、「中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備」が、「重点支援地方交付金」の推奨事業メニューに追加され



たことも十分踏まえて、今後の国の動向を注視しながら、検討してまいりたい。

また、賃上げの成果の見える化については、市内全体での、賃上げに向けた機運醸成につながるものが期待されますことから、そうした相乗効果が得られるよう、まずは、奨励金を交付した中小企業等を対象に、アンケート調査を実施することを、検討してまいりたい。

## 公園管理について

### 中央公園

❶ 閉鎖中の代替地を確保し、仮設遊具などを設置することで、交流の場を提供する考え

❷ 中央公園の再整備中の対応として、代替地を別途、確保することは、周辺に利用可能なオープンスペースが見当たらないことや、その整備に要する、新たな経費が発生することなどを踏まえ、と、困難であるものと存じている。

このため、近隣に「ごいます」「亀岡公園」や「番町二丁目公園」を始め、四番丁スクエア北側の緑地、また、アスレチック遊具等のある「峰山公園」など、御利用いただくよう、中央公園の工事の進捗状況等と合わせて、本市ホームページやSNSなどで情報の提供に取り組んでまいりたい。

❸ 仮囲いの壁面を活用し、工事のイメージアップや本市のPRを行う考え

❹ 中央公園の再整備に向け、本年8月から、本格的な工事に着手したところであり、現場への侵入防止や騒音・粉じん対策など、安全確保の観点から、仮囲いを設置しているところである。

このような中、その壁面を有効に活用し、本市のイメージアップに取り組むこととしており、今月4日から、公園南側の菊池寛通り沿いにおいては、郷土の文豪、

「菊池寛」を紹介する掲示を行ったところである。

今後におきましても、中央公園リニューアルへの期待感を高める、完成イメージパースなどの情報のほか、本市のイメージアップやシテイプロモーションにもつながる内容を掲示してまいりたい。

## 交通安全について

❶ 事故多発交差点へのカラー舗装の実施状況と、その事故抑制効果の評価

❷ 本市では、交通事故を防止するため、注意喚起のための交差点マークや、文字による分かりやすい路面標示を行うなど、視覚に訴える交通安全対策を進めている。

また、交通事故の多発する交差点においては、出会い頭事故の抑制効果が高いカラー舗装化を、平成30年度から、市内6箇所で開催している。

また、その事故抑制効果の評価について、カラー舗装化を実施した市内6箇所におきましては、施工前に比べ、事故件数が約70%減少しており、事故抑制に向けた一定の効果が現れているものと存じる。

❸ 市道におけるカラー舗装や外側線などの路面標示の補修について、どのように取り組んでいるのか。

❹ カラー舗装や外側線などの路面標示については、定期的なパトロールを始め、市民の皆様からの情報提供、また、学校関係者や警察などと合同で実施している通学路点検などにより、摩耗の度合いや交通量などを考慮し、危険性や緊急性の高いものから、順次、その補修を行っている。

今後とも、県警や地元関係者等との協議の下、カラー舗装化や外側線の補修など、現地の状況に応じた安全対策や維持管理に、適切に取り組んでまいりたい。

## Colum コラム



皆様の緊急時の不安を和らげるため全力で取り組んでいます。

「たかまつホットとLINE」のトップページから「救急電話相談の案内へ容易にアクセスできるようにしました」

2024年の高松市における救急搬送困難事例は1,711件に達し、前年の1.25倍で過去最多を記録しました。

そこで市は、平日日中の転院搬送に特化した日勤救急隊を導入しましたが、救急車の出動件数と搬送人員は3年連続で過去最多を

更新しており、救急搬送体制の逼迫が続いています。

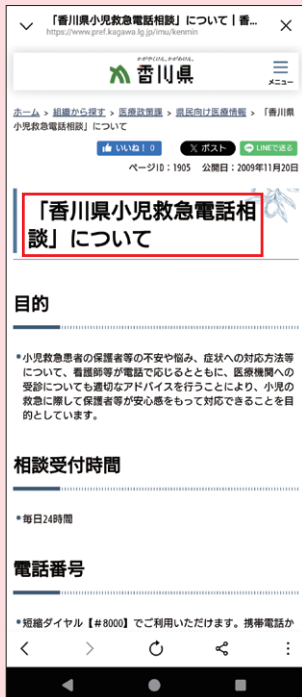
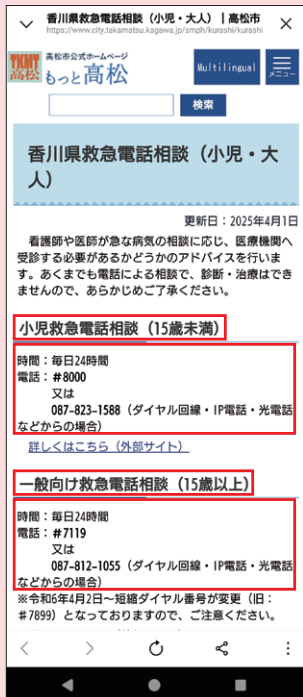
そのため、市公式LINE「たかまつホットとLINE」では、昨年11月1日より救急隊の稼働状況を知らせる「救急隊ひつ迫アラート」の運用を開始し、公式YouTubeチャンネルでも周知動画が公開されています。

救急搬送体制の逼迫が続く中、救急車を呼ぶが迷った際の「救急電話相談」について市民から意見が寄せられました。

その内容は、緊急時は冷静な判断が難しく、電話番号を記憶していても正確に発信することが困難なため、素早く容易に情報へたどり着ける仕組みを求めたものであります。

そこで、2025年3月議会において、「たかまつホットとLINE」のトップページにある「災害情報」と同様、救急相談の連絡先もHPやLINEからワン

プッシュで容易に認識・利用できるような掲載することを提案したところ、「たかまつホットとLINE」のトップページから「救急電話相談」の案内へ容易にアクセスできるようにしました。



大西智

読み取って友だち追加